

# 阿蘇海環境づくり協働会議 平成21年度取組

## 目 標

地域住民と一体となった阿蘇海環境改善への取り組みを行う。

## 基本方針

- ①地域住民に対する阿蘇海環境改善意識醸成のための啓発活動の支援
- ②構成団体間の情報交換による連携強化

## 活動内容

### (1) 地域住民への啓発事業

- ① 各構成団体による住民啓発活動の展開 (9月を啓発強化月間として位置付け)



地元中学生等による生き物調査等を  
9月12・13日の自然公園  
ふれあい全国大会・ふれあい広場で  
発表(パネル展)



構成団体による阿蘇海周辺清掃活動  
(9月30日、参加者70名)

- ② 「船で見る阿蘇海」 (阿蘇海船上見学会) の実施



→ 阿蘇海の現状を船上から見学し、水質や底質(ヘドロ)を実際に認識することで  
環境改善意識の高揚と具体的な取組を促すための契機とする。上流域の農業者  
も多数参加。(10月26・29日、参加者合計60名)

(内容) 阿蘇海の透明度測定、採水、底質採取等

## 活動内容

### (2) 小学生への啓発事業

- ①地域の小学生を対象に阿蘇海及び流入河川の環境をテーマに絵画コンクールを実施。入選作は環境啓発チラシや看板を作成、巡回展にも使用

→ 小学生の作品を活用することで、その保護者から意識改善を図るとともに、地域的な取組気運を高めた。

宮津市 3小学校49作品

与謝野町 7小学校317作品



- ②地元小学校での出前語らい等を実施



(10月30日、宮津市立府中小学校)

### (3) 農業者への普及啓発

- ①「環境にやさしい水稻栽培モデル集落」(与謝野町後野)の設置

畦塗り・浅水代かきを集落全体で実施。(4・5月)

啓発のぼりで濁水流出防止の取組をPR。(5月)

- ②阿蘇海の環境に関するアンケート調査

与謝野町内水稻栽培農家を対象にアンケート調査を実施。(2・3月)

### (4) 情報交換による連携強化

実務者会議等を随時開催し、緊密な情報交換と各機関・団体が連携して課題解決を目指す。

### (5) 環境省「里海創生支援モデル事業」の実施

地元中学生等による生き物調査等を実施し、子供から大人への環境メッセージを発信。

